

The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

February
ISSUE



February, 2025
Volume 153

阪神淡路大震災 30 年目をむかえて

1995 年 1 月 17 日ーこの日から今年で 30 年目をむかえました。

DIA では、教員が輪番で朝の礼拝のスピーチを行うのですが、1 月 8 日は私が子どもたちにお話をする日でしたので、私の体験とともに、この地震について伝えました。

私は兵庫県出身で、当日も県内でこの地震に遭いました。私は地震で目が覚めたのではなく、実は地震が起こる少し前に目を覚ましました。というのも「ゴオーッ！」という地鳴りがしたからなのです。「何だろう？」と思った瞬間に、布団の下から蹴飛ばされているような強い揺れが起こり、次に横揺れが始まりました。母は「天井がスライドしているのが見えたので、『ああ、家が潰れる。』」と思ったそうです。

飛び起きて、テレビで情報を得ようと思い、電源を入れたところ、神戸だけ震度が出ていませんでした（今思うと、電気がついただけでもありがたい状況でした）。「震源地は神戸だな。」と思ったことを今でも鮮明に覚えています。実際に、神戸の地震計測器は壊れてしまって、震度が計れなかったことが後でわかりました。私はこの時教員一年目だったのですが、すぐ学校に行き、当時のクラスの子供達と「朝の地震大丈夫だった？みんな怖かったねえ。」と話しをしました。「ちょっとニュースを見てみようか。」と教室に設置してあるテレビをつけたのが朝 11 時頃だったのではないかと思います。テレビに映し出されたのは、倒れた阪神高速道路。「えっー！！」子どもたちとともに口元を抑えて絶句しました。よく知った大好

きな街が崩れ、人々が茫然と立ち尽くし、また泣き叫ぶ様子に胸をかきむしられました。この後、被災地では学校が避難所となり、支援物資が届き始めましたー。

1995 年は「ボランティア元年」と呼ばれています。神戸の復興のために、全国から、そして世界から、たくさんの人々が手を差し伸べてくださいました。県外の友人や、私の家が神戸に近いことを知っている海外の友人からも、私を心配する連絡をもらいました。私の無事を知り、涙してくれる彼らの存在が、とてもありがたかったです。

この年、野球チームのオリックス・ブルーウェーブは、ユニフォームの袖に「がんばろう Kobe」の刺繍を入れてプレーし、優勝して被災者を勇気づけました。地震後、電気が通るようになった際に、神戸港に近いホテルオークラにともされた客室の電気。「ファイト！」の文字が浮かび上がった明かりを見て、私や含め、大変多くの人々が涙しました。電車が通るようになった日には、沿線に「ありがとう！」と被災者の方々からのメッセージが書かれた横断幕が張られました。

私は、人を支えるのは人の温かさだと改めて学んだのです。

新島襄は「一人ひとりを大切にし、自分の幸せだけでなく、相手の幸せを願う心」が日本の未来を拓くと考えました。南海トラフ地震がいつ起こるかわからない昨今、普段からの地震への備えももちろんのこと、人を思う「思いやりの心」を、DIA で育んでいきたいと思っています。

ロハス 亜紀





キリスト教教育

2月：愛 February：Love

イエスは言われた。『心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の戒めである。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つの戒めに、律法全体と預言者とが、かかっているのだ。」

(マタイによる福音書 22 章 37 節-40 節 聖書協会共同訳)

上掲の聖書箇所は、「律法の中でどの戒めが最も重要でしょうか。」という質問に対してイエス様が答えられた内容です。質問したのはユダヤ教の律法の専門家、質問者自身は律法を熟知し、律法に付いて縦横無尽に語れる立場の人でした。今で言えば法曹界で働いている人が、「六法全書の中で一番大事な法律を教えてください。」と敢えて一般人に質問をするようなものです。当然彼の意図は自分が本当にそれを知りたかったからではなく、イエス様が的確な解答をすることができるのかどうかを試すためでした。

数多ある旧約聖書の律法の中でも、取り分け重要なのが「モーセの十戒」と呼ばれるもので、ここには以下の文言が挙げられています。

1. あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない。
2. あなたはいかなる像も造ってはならない。
3. あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。
4. 安息日を心に留め、これを聖別せよ。
5. あなたの父母を敬え。
6. 殺してはならない。
7. 姦淫してはならない。
8. 盗んではならない。
9. 隣人に関して偽証してはならない。
10. 隣人の家を欲してはならない。

(以上、「こどもさんびか 改訂版 日本キリスト教団出版局」の巻末より転用)

1~4 番までは神への信仰に関することを、5 番から 10 番までは人との関係について述べています。両者は一見、別々のことを命じている教えのように見えますが、実は切っても切れない間柄です。「ほかに神があってはならない。」のも「いかなる像も造ってはならない。」のも、「神は愛である」(ヨハネの手紙 I 4:16) 故に、全ては人間が本当に愛すべき対象から気を逸らすことのないようにするための戒めであり、つまるところは人への愛に帰着します。

4. →安息日は終日働く人間を解放し、心身を休ませ、神への感謝と人への思いやりを想起させます。
5. →何歳になっても、たとえどんな状態でも、親を敬愛する気持ちが大切であることを教えます。
6. →個人の殺人罪だけではなく、苛めを苦にした自殺や、今苦しんでいる人を放置することも一種の「殺す」行為ではないか、と考えることは大切です。
7. →不倫や痴漢、セクハラなど性的に誰かを苦しめ、人権を踏みにじるような行為は全て「姦淫の罪」です。
8. →個人の窃盗だけではなく、経済的に強い国が弱い国から搾取するような事態も「盗む」行為であると自覚せねばなりません。
9. →種々の詐欺が横行していますが、これも基本の戒めです。
10. →他者の持ち物を必要以上に羨むことは、6、7、8、9の罪に通じていく危険があります。

このように見ていくと、「全力で神を愛する。」こと即ち「隣人を自分のように愛する。」ことであるとわかります。

Christian Education Committee チャブレン 石川眞弓

<お知らせ>

2月の「おにぎり献金」は、2月12日(水)です。

- ・国内：岩手キリスト教学園認定こども園宮古ひかり、福島県の若松聖愛幼稚園、熊本県の慈恵病院「こうのとりのゆりかご」、北陸学院キリスト教センター「石川県能登半島地震支援金口」
- ・海外：日本ユニセフ協会「ウクライナ緊急募金」・「シリア緊急募金」・「ガザ人道危機緊急募金」

上記の施設にお捧げします。ご賛同いただける方は、お子様に献金をお持ちください。

Grade 1 本との出会い

春学期に書いた1年1組の学級通信を少し編集して紙面に書ききれなかった続きを記します。

春学期にライブラリーで借りた本の本数をクラス単位で調べてみたところ、1年1組は1531冊、秋学期には1330冊という驚異的な数字が出されました。これはDIAの全12クラスの中で一番多く、担任もこの数字には驚きました。2番目に多く借りたクラスが800冊程なので、どれほど読書に溢れた生活を過ごしたかがわかります。低学年なので絵本の量が多く、貸し出し冊数も増えますが、この冊数はたくさんの本との出会いがあったことを表しています。

1年生を担任することが決まったとき、1年生の「学び」とは何だろうと考えていました。ほんの数か月前まで幼稚園で1日中体を動かし走り回っていた子たちです。1年生になったからと言って机に向かって文字を書いて先生の話の聞くだけの勉強はつまらないだろう。でも何か文字を通して集中する時間を導入していきたい、という考えから「本」にたどりつきました。そこでまず用意したのはたくさんの紙芝居でした。自分で文字をたどることも難しい年齢です。『読むより聞く』で入学当初から時間さえあれば紙芝居や絵本を読んで聞かせてきました。保護者の皆様のお力もたくさんお借りしました。保護者による本の読み聞かせです。これは子どもたちに大変好評で、それがそのまま「本が好き」な気持ちへ移っていったように感じます。お母様やお父様の声だからこそ不安がなくなり安心して本の世界に入り込んでいったのでしょ

子どもは耳からの吸収がとても得意

黙読が「目からの読書」とするならば、読み聞かせは「耳からの読書」だと考えています。耳から入る言葉が増えれば増えるほど、目から入る言葉の理解も要領よく深まります。読書の本質は、その世界に入り込めるかどうかです。『めっきらもつきらどおんどん』のような非現実的な世界へ吸い込まれていく絵本でも、実際にその絵本の中に入り込めるのが子どもたちの素晴らしい能力です。逆に文字だけの言葉は、まだすらすら読めない子どもにとっては味気ない記号のようなものです。次の一文を見てください。

ははは、おとうとにきをつかってそのボールをわたしたのだった。

なんと意味不明な一文だと思いませんか。「母は」なのか、笑っているのか、「気を遣って」なのか、「木を使って」なのかわかりません。自分で読み始める子どもたちの世界はおそらくこんな感じなのだと思います。大人であれば前後の話の流れに合うように読むでしょう。しかし子どもにしたら一文を読むにも一文字一文字をたどることで精いっぱいなのです。読んでみたい本を手にとり、溢れる好奇心でいざ読み始めたら、文字を読む壁にぶつかってしまい内容がリズムよく入ってこない、そんなもどかしさを感じたり、読めたけど話の内容が頭の中に残っていないという虚しさを感じたりすることがあります。読み聞かせであればこの心配がありません。同じ本でも「自分で読んでみよう」と、「読むから聞いていてね」の声かけで子どもたちのやる気は違います。

耳や目はお母さんのおなかの中にいるとき最初に形成される器官です。よく「赤ちゃんは耳から吸収するのでたくさん語り掛けてあげてください。」と聞いたことがあると思います。「幼児期には言葉のシャワーをたくさん浴びせましょう。」と言われ、英語や音楽を聞かせたり、たくさん本を読んであげたりしたのではないのでしょうか。その耳からの吸収はまだ現在進行中です。紙芝居や本を読むときにそれがよくわかります。題名を聞いてどんなお話が想像しているころには、もうその物語に入り込んで次の言葉を待っています。話に入り込めるということは、聞こえてくる言葉と情景をしっかりとつなげて理解を進めているということ。読み聞かせをしてもらう子どもの方は、言葉とその言葉が持つ意味やイメージをつなげていく積み重ねをしています。お母さんやお父さんが読んでいる行を目で追えるようになってきたとき、「私も読めるかもしれない」「読んでみたいな」が始まります。読むのはそこからいいのではないかと思います。もちろん学校では全員教科書を読みますが。

今、子どもたちは毎日いろんな本と出会い、その世界観を自分の中で新たな世界としてふくらませています。そこには知識や言葉だけではなく想像力や生きる知恵をも育む素晴らしい世界が広がっています。こんな出会いが春学期には1531回、秋学期には1330回もあったということです。どの子も本への興味にとっても一途です。「どんなお話かな」「このあとどうなるのかな」と、常に冒険心と好奇心に溢れています。今日も「帰る用意ができたなら紙芝居読んでくれる?」「今日のほんごの授業でライブラリー行く?」という子どもたちの声心地よく聞こえてきます。初めは本を読むことや聞くことに抵抗があった子どもたちも、少しずつ読む楽しさや耳からの読書で本を好きになってくれていることでしょう。

そして本に夢中になったのは子どもたちだけではありません。彼らに読む本を探すうちに、いつの間にか私が絵本や紙芝居の世界にどっぷりとはまり込んでいました。同じ内容の絵本でも挿絵が違うと話のニュアンスもやわらかくなったり、こわくなったりして絵本のおもしろさに近づけました。改めて私にとっても本との出会いがたくさんあった1年となりました。子どもたちに感謝です。これからたくさんの素敵な本に出会ってくれることを願ってやみません。



からのおしらせ

2月6日はお風呂の日

「ふ(2)ろ(6)」(風呂)と読む語呂合わせで記念日に認定・登録されました。寒い日が続いています。この日は、湯船につかってゆっくりとお風呂を楽しむのはいかがでしょうか。

『明日の湯: 下町人情銭湯』ポプラ文庫 秋山 浩司 (著)



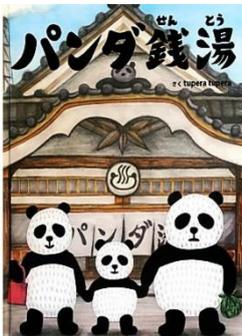
東京は浅草、浅草寺近くに昭和のはじめから存在する銭湯「明日の湯」。
三代目の三助は現役の大学生。失踪した父親のかわりに、三代目として毎日番台に掃除にと、雑務に駆りだされる日々。
何事もなくのんびりまったり暮らしていた三助のもとには、しかし、毎日珍客が訪れる。三助はしづしづ彼らの悩み解決に手を貸すことに――。
あたたかいお湯と人情が疲れた心と身体をあたためる、ほっこり銭湯ミステリー。

『おでん おんせんにいく』作: 中川 ひろたか 絵: 長谷川 義史 出版社: 佼成出版社



ダジャレが効いてリズム感たっぷりの中川ひろたかさんの文章と、長谷川義史さんのユーモアたっぷり生き生きとしたおでん達の絵に笑っているうちに、心も体もすっかり温められて、本の持つ楽しさがたっぷり伝わる1冊。

『パンダ銭湯』 作: tupera tupera 出版社: 絵本館



「パンダ以外の入店は、固くお断りしています」
世の中には知っちゃあいけない秘密もあるものです。
パンダのためのお風呂屋さん、パンダ銭湯もそうなのです。
だけど、やっぱり。のぞいてみちやいましょう!

『おじいちゃんのまち』 作・絵: 野村たかあき 出版社: 講談社



おじいちゃん、どうして ぼくたちといっしょに くらさないの? おじいちゃん、一緒に、暮らしたいのに!
ぼくが見たおじいちゃんの住む町の温もり。隣町で独り暮らすおじいちゃんを訪れたぼくは、いろいろな人に出会います。
第13回絵本にっぽん賞受賞作品です。

2月の主な行事・予定

2月1日 編転入試
2月2日 立石杯

1	土	
2	日	立石杯 / Tateishi Cup
3	月	Unit6(week3)
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	Unit6(week4)
11	火	建国記念の日 / Japan's Foundation Day
12	水	
13	木	
14	金	G6 同志社国際高校・大学京田辺キャンパス見学 / G6 Doshisha International High School and University Kyotanabe Campus Tour
15	土	
16	日	
17	月	Unit6(week5)
18	火	
19	水	
20	木	G5 国際中学校見学 / G5 visit to International Jr. High School
21	金	
22	土	
23	日	天皇誕生日 / Emperor's Birthday
24	月	振替休日 / Substitute holiday
25	火	Buffer week
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

3月の主な行事・予定

3/1(土) 土曜参観・学期報告会
3/12(火)-13(水) 学期末カンファレンス (希望者のみ)、午前授業
3/14(金) 卒業式
3/19(木) 修了式
3/20(木)-4/7(月) 春季休暇